

## 経営一転語 28 資金繰りについて

不況期は、資金繰りが非常に重要です。資金繰りを楽にする王道は、計画を立て、「社長の率先垂範によるお客様訪問」を強力にしていき、営業力を強化し、売上を増大させることです。そうすると自然と資金繰りがついていきます。

そのような実践にもかかわらず、資金繰りに困ることもあると思います。その時に、正直言って、特效薬となるような、魔法の技は残念ながらありません。

不足資金は、手形を割り引くか、金融機関から借り入れるか、資産を処分して換金するか、代表者が会社に貸し付けるか、しかないのです。

資金繰りをうまくするための方法は、事前に資金繰り計画を立て、資金を管理することによって、事前に不足をつかみ、金融機関に申し入れ、金融機関の融資を受けることが最善の方法です。

そのためには、経営計画において、資金計画をたて、それに基づく運用管理をします。

一方、金融機関に対しては、メインバンクを必ず決め、経営計画書と資金繰り計画書を必ず提出しておき、毎月、経営成績が良くても、悪くても実績を報告することです。そうすることによって、金融機関の信頼を日頃から得ておきます。

日頃の状況報告なしに、困ったときだけ、飛び込んで、融資申し込みをしても、受け付けてもらえないのは当然だと思った方がよいでしょう。資金繰りに上手な資金繰りなどなく、小手先のテクニックは通用しないのです。

やはり、経営の王道を歩み、社長の正しい姿勢に基づく、正しい経営によって利益を生み出し、正しい資金運用を行うことによって、資金繰りは自然につくようになると言えるでしょう。

### <演習課題>

1. 経営計画書と資金繰り計画書を作りましょう。